

# Nurse Recruitment 看護師 求人情報



**応募条件**  
**有資格者**  
**ブランクOK**  
**新卒OK**

現在、増床に向け病棟看護師を募集中です。常勤職員はもちろん、3時間/日～の時短勤務の方も募集しています。自分に合った働き方、一緒に見つけていきましょう！

## 寮

寮あり  
費用/月2万3000円～  
間取り/1K  
場所/最寄り駅：田無駅  
病院から徒歩5分



## 福利厚生

マイカー通勤OK  
(駐車場代/月6000円、ガソリン代/支給)  
退職金制度 (勤続3年以上)  
制服貸与  
弁当割引制度  
入職お祝い金/30万円  
(常勤看護師)  
復職支援制度/あり

## 保育支援

24時間保育室完備  
費用/月1万円  
預かり年齢/0歳～3歳  
規模/保育士11名程度、  
園児30名程度  
病児保育/あり



## その他



看護記録方式/ SOAP  
看護方式/ チームナーシング  
カルテ/ 電子カルテ  
夜勤体制  
一般病棟：看護師3名・看護助手1名  
重症病棟：看護師4名・看護助手1名、産科病棟、助産師3名  
認定看護師/ 感染管理1名、認知症看護1名、緩和ケア1名  
認定看護師取得制度/ あり  
専門看護師取得制度/ あり  
奨学金制度/ あり (最大月5万円)

詳しい採用情報は  
当院ホームページ  
をご覧ください



医療法人社団 時正会  
佐々総合病院

住所 〒188-0011 東京都西東京市田無町4-24-15  
電話番号 042-461-1535 (代表)  
042-461-3333 (産婦人科)  
042-461-8383 (健診センター)

編集・発行/ 広報委員会  
発行日/ 2021年9月1日

ホームページ情報  
<http://www.sassa-hospital.com/>  
右のQRコードを読み込んで頂くと  
サイトにアクセスできます。



みなさまの声  
<https://forms.gle/ucL1R3Qy2XxpRbzt7>  
医療の質向上と問題解決の為、  
お気づきの点をお聞かせください。



# ささ舟-SASABUNE-

患者様×地域×佐々総合病院をつなぐコミュニケーションマガジン

### 佐々総合病院 職員推薦 周辺グルメMAP

患者様やご家族様が利用できる食事スペースが無い当院において、待ち時間・空き時間にご利用いただけるよう、ご協力いただいています

- 墨花居**：中華風のローストビーフ丼でお肉は黒毛和牛です！
- よだれ牛丼**：1日10食限定!!
- 砂場**：そば湯まで美味! 鴨南そば
- コシのある手打ちそば**！常連の医師も多いお店です
- フジカフェ**：珈琲は毎日お店で焙煎!
- 武蔵野茶房**：ボリューム抜群! クリームあんみつ
- 武蔵野食堂**：ささ舟持参で来店された方にちょこっとサービス! スタッフまでお声がけ下さい
- ソースが選べる! オムライス**：トマトソースとデミグラスソースが選べます!

## Contents

- 佐々対談  
放射線科 × 院長
- 診療科特集 救急・災害部
- 特集 専門医が話すMRI Part2
- 副院長就任のご挨拶
- 採用情報

# Vol.39

佐々総合病院  
2021.09.01

ご自由にお持ち帰りください  
Feel free to take

# 佐々対談 放射線科 × 院長

放射線科には多くの診療放射線技師が在籍しています。診療放射線技師の主な仕事はレントゲン・CT・MRI・マンモグラフィといった放射線などを使って画像を撮影することです。

当院は2年前に放射線診断専門医2名を迎え、放射線診断科を立ち上げ、今年5月にはMRIの更新工事を行いました。今回はここ数年で大きく変化の局面を迎えている放射線科職員に話を伺ってきました。



左から鈴木院長、西村公博科長代理  
水流伸也係長、田中智章主任

**鈴木：**最近導入した新MRIの話も聞きたいですが、まずは放射線技師の仕事や役割について教えてくださいませんか。

**西村：**診療放射線技師の主な仕事は、医師が病気を診断するために必要な画像情報を提供することです。画像はX線検査やCTなどの放射線を用いる撮影装置を扱い撮影しています。

**鈴木：**せっかくなのでいま挙げていただいたものも含め、業務で行っている各検査について簡単に説明してください。

**西村：**画像診断検査はX線・CT・MRIの3種類があります。まずX線検査ですが、体の中を通り抜ける性質があるX線を使って患部を画像化する検査で、心臓や肺、腹部、骨などの検査に利用されます。患部を見逃さないよう、正しい撮影位置を決めるのも放射線技師の重要な役割のひとつです。

**田中：**次にCT検査です。X線を使って体を輪切りに撮影し、血管や内臓、骨の画像を提供します。



その画像から3Dなどの立体画像を作成し、病気の大きさや位置を正確に知ることもできます。検査時間は内容や造影剤を使うかによりますが3～30分ほどかかります。

**水流：**最後がMRI検査ですね。MRIは放射線を使用せず、強力な磁場と電波を使って、体のあらゆる方向の断面を撮影し、体内の状態を見る検査です。造影剤を使わずに血管を描出できるのが特徴です。患者は巨大な筒状の装置に寝台ごと入って撮影を行うため、患者の不安感を取り除くことも大切です。

**田中：**その他、一般的には胃バリウム検査と呼ばれることが多い消化管造影検査や、乳がんの検査として使われる乳房X線検査（マンモグラフィ）などにも関わっています。

**鈴木：**解説を聞いて改めて感じたのは職種名は「放射線技師」ですが、放射線を用いない検査も担当されていますよね。

**田中：**実はそうです。医療の高度化に伴い放射線の使用に関わらず、様々な撮影機器の操作が求められるようになってきました。

**西村：**検査以外の仕事では放射線の「管理」があります。自然界にも存在する放射線は、一定量を超えると体に何らかの影響を与えると報告されています。画像診断検査では、診断が可能な範囲で最低限の放射線量に抑えるなど、放射線による障害や事故を防止するため、安全管理を行っています。

**鈴木：**業務内容について聞けたところで、いよいよ新しいMRIについて話を聞いて行きたいと思います。病院としては以前から医療の質向上

の観点からMRIを新しくしたいと考えており、それが年単位の取り組みでようやく実現した形ですが、現場としてはいかがですか。

**水流：**放射線科は多くの機械を操作する部署なので、機械の老朽化は医療の質向上や、効率的な業務推進を目指す上で非常に課題になります。医療機械は高額で、購入のハードルが高く、簡単に買うことができません。そんな中でMRIを新しくしていただけたのは大変ありがたいです。導入においては事前調査から工事まで部署の垣根を越えた協力が必要となり、院内の皆さんの協力もあって無事に稼働開始を迎えられたと感じています。

**鈴木：**実際に5月から新MRIを検査に使用している訳ですが、違いを感じることはありますか。

**水流：**一概に全ての検査に対して当てはまる訳ではないですが、撮影する部位によっては検査時間の短縮や画質が向上したり、これまでのMRIでは撮影出来なかったものを撮影できるようになりました。（詳しくは本誌6ページで放射線画像診断科の信澤部長が解説しています）

**鈴木：**機材の性能が向上したことで質が上がった例ですね。気になったのは、例えば私も新しい手術機材が導入されると慣れるまで時間を要することがあります。これまでもMRIの操作をしてきたので操作面などは問題ないですか。

**西村：**院長の仰るとおりで、MRIを操作した経験にプラスして「新しく撮影できるようになったものを、求められるレベルで撮影する」技術が必要になってきますね。極端な例ですが、スマートフォンのカメラでも適当に撮影ボタンを押すとブレたり、暗かったりと思うように写真が撮れないことがあると思います。MRIにおいても、撮影ボタンを押せば欲しい画像が撮れる



訳ではないので、細かい調整や機材の特性を理解する必要があります。導入してからというもの、放射線診断専門医の医師と日々打ち合わせしながら撮影技術の向上に努めています。

**鈴木：**導入して間もないので、まだまだ微調整を進めていく時期だと思いますが、皆さんの撮影する画像が、医師が病気を判断する重要な要素になるので、ぜひ今後とも当院の医療を支える部署として協力いただければと思っています。最後に放射線科として今後の方針や取り組んでいきたいことなどがあれば、是非聞かせてください。

**西村：**医療の進歩が日進月歩なのと同様、医療機器も目覚ましい進歩があります。それに負けないよう機器や技術の情報収集を行っています。また病院職員同士でコミュニケーションを取りながら切磋琢磨し、技術の向上に努めながら地域医療に貢献していきたいと思っています。

**鈴木：**病院としても協力していきますので、何かあればいつでも声を掛けてください。本日はありがとうございました。

**3名：**ありがとうございました。（以上）

# 診療科特集 救急・災害部



竹内 俊介  
【役職】  
救急・災害部 部長

【資格】  
日本外科学会専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本消化器外科学会専門医  
消化器がん外科治療認定医  
ICD(インフェクションコントロールドクター)  
日本DMAT隊員  
マンモグラフィ読影認定医

救急・災害部は、西東京市ならびに北多摩北部地域の救急医療を担うべく、これまでの“救急科”を引き継ぐ形で2020年に発足しました。110年以上もの歴史を有し地域の災害拠点病院である佐々総合病院の伝統を引き継ぎ、これからも地域の急性期医療に貢献し続けられるよう日々精進を続けております。

## 災害医療部門



熊本地震派遣(2016)



熊本地震派遣(2016)



大規模災害訓練(2019)



大規模災害訓練(2019)

いつかやってくる大地震などの大規模災害を想定し、地域の皆様に貢献するべく災害拠点病院としての準備を平時からすすめており当科はその中心を担っています。

当院の日本DMAT隊（日本災害医療支援チーム）は2016年の熊本地震や2020年のクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号における新型コロナウイルス感染クラスターの際、厚生労働省からの要請に応じて災害支援をおこなった実績を有しております。こうした経験から学んだことを平時から地域医療や今後の災害医療にかさすべく活動しております。

また2019年から竹内俊介医師が西東京市の災害医療コーディネーターに任命され、当院は行政とともに災害時医療の質向上にむけ共に歩んでおります。西東京市医師会や西東京消防署、田無警察や近隣の医療機関、近隣の企業などと連携した大規模災害訓練を定期的開催し、いつかやってくる“その時”に備えています。



田中 俊生  
【役職】  
救急・災害部 医長

【資格】  
医学博士  
日本救急医学会専門医  
東京DMAT隊員  
日本DMAT隊員  
日本医師会認定産業医  
身体障害者福祉法第15条指定医  
JATECインストラクター  
ISLSコースコーディネーター  
ICLSコースディレクター

## 救急医療部門

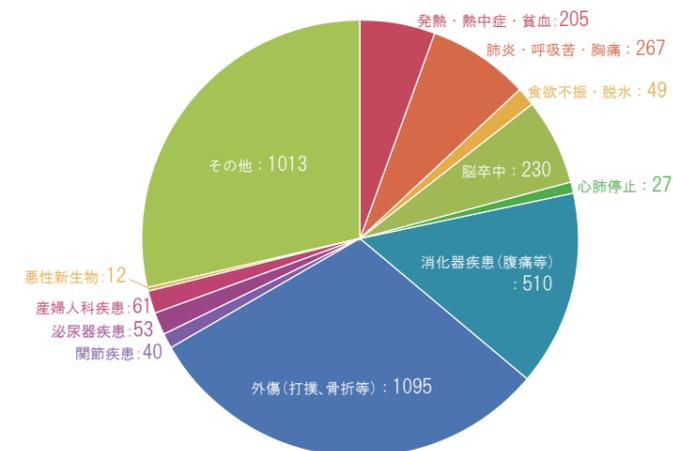
西東京市内を中心として救急医療が必要な患者様の急性期治療や救急車の受け入れを積極的に行っており、患者様受け入れの件数のみならず治療の質においてもナンバーワンを目指すべく救急専門医を中心とし、医師・看護師・救命士などによる診療チームを編成しております。

2020年8月には日本救急医学会専門医であり、DMAT隊員でもある田中俊生医師を常勤として招聘し、さらに日勤帯においては関連病院からの非常勤救急専門医との専門医2名体制で救急患者様の受け入れを行っております。

救急車受入件数推移(2015年度～)



救急搬送受入疾患内訳(2020年度)



また、ハード面においても老朽化した救急外来をリニューアルする計画を本年度立案しており、これまで以上に患者様にとってクリーンで安全かつ高度な救急医療が提供できるような空間づくりを目指しております。

万が一、皆様の大切な御家族が急な病で倒れてしまい救急車の要請が必要になったとき、迅速に必要な治療を開始しながらもその原因を精査し、必要な専門科による専門的治療へスムーズに移行できるよう日々研鑽を積んでおります。



田中医師による急変時対応研修の様子(2021)

Special feature

# 特集 専門医が話すMRI《Part.2》

ちょっと専門的な

前号のささ舟に引き続き、放射線診断医 信澤医師に新MRIに関してお話を伺いました。



放射線診断科 部長  
信澤 宏

● 今回は体幹部広範囲撮像法である**DWIBS** (diffusion weighted whole body imaging with background body signal suppression) についてご紹介します。

近年の機器の進歩により、**MRIでも広範囲撮影が可能**となってきました。従来は画像での全身スクリーニングといえばCT、骨シンチ、18-FDG-PET/CT (以下、PETと略記します) などが行われてきました。

**DWIBSはMRIで体幹部全体を撮像対象とする検査です。**画像表示が似た検査としてPETがありますので、比較してご説明しましょう。

## 01 DWIBS はどのような検査か

PET がブドウ糖代謝を観察しているのに対して、**DWIBSは悪性腫瘍や炎症の多くが拡散強調像で高信号になる(光る)ことを利用した検査法です。**癌が診断された場合の遠隔転移の検索(特に骨転移)、原発不明癌での原発巣探し、悪性腫瘍の放射線治療や化学療法などの治療効果判定、体重減少や不明熱での原因精査、などで活用できます。腫瘍マーカーが上昇するか否かに関わらず、多くの悪性腫瘍の検出が可能です。腫瘍の体積測定もできます。

## 02 PETと比較してみるDWIBSの特徴

**【画像診断】**  
画像診断的には PET とほぼ同じです。骨転移の診断では骨シンチよりも本検査のほうが優れることが知られています (PETとは同程度)。

**【注意点】**  
欠点としては、MRI であるため心臓ペースメーカーや体内金属などがある患者では検査できない場合があります。肺の小病変(1cm未満)の検出は PET に劣ります。消化管病変の診断は弱いです。

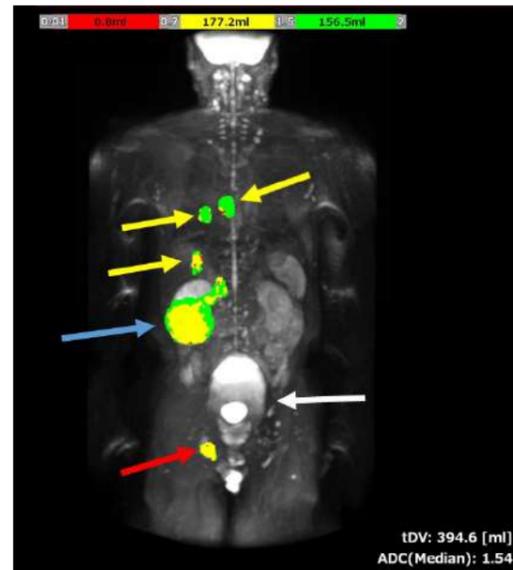
**【撮影範囲】**  
体幹部を対象とします。頭部と四肢の大部分は入りませんが、この領域の異常の有無は自覚症状で診断できる可能性が高いので、実臨床上の害は少ないです。

**【検査時間】**  
検査時間は 30 分程度です。この点も PET とほぼ同程度です。ただし、PET の場合には注射から検査まで 1 時間程度の待ち時間、検査後の 30 分程度の待ち時間があるので、実質的な検査時間は 2 時間程度です。

**【被ばく・その他】**  
DWIBSでは注射なく検査前食止めもありませんが、PETでは検査前食止めと注射があります。PETでは放射性同位元素とCTによる二重被ばくがありますが、DWIBSでは被ばくはありません。

**【保険診療と患者負担金】**  
PETでは保険診療の適応に制限があるのに比べるとDWIBSには保険診療上の制限はありません。検査費用は3割負担で5910円です(PETでは3万円近い)。

DWIBSは若干の欠点はあるものの、バラ色の検査なのです。この度当院に導入された最新鋭MRIでは本検査が可能です。本検査ができる病院は高性能MRIが導入されているとあっていただいで良いでしょう。



上の画像は血尿で受診した患者さんです。腹部 CT で右腎腫瘍が疑われ本検査が行われました。右腎腫瘍 (青矢印) のほかに右肺転移・右肺門リンパ節転移・縦隔リンパ節転移 (黄矢印)、右肋骨転移 (赤矢印) が描出されています。合計の腫瘍体積は 395ml と計算されました (図の右下の TDV)。膀胱が光っているのは血尿のためです (白矢印)。一般的な撮像範囲はだいたいこのくらいです。

Director Greeting

# 副院長就任のご挨拶

2021年8月1日より内科部長・内科系診療部長の 西尾真一医師が、佐々総合病院 副院長に就任いたしましたのでお知らせします。



Shinichi Nishio

西尾真一

佐々総合病院副院長。専門は糖尿病内科。

- 医学博士
- 日本内科学会 認定医
- 日本内分泌学会専門医・指導医・評議員
- 日本糖尿病学会専門医・指導医
- 日本老年医学会専門医・指導医・代議員
- 日本肥満学会専門医・指導医・評議員
- 日本甲状腺学会専門医

## 【地元の皆様に少しでも恩返しができる】

8月より横川秀男理事長、鈴木隆文院長のもと、私 西尾が副院長を務めさせていただくことになりました。佐々総合病院が今まで以上に地域の皆様に信頼される病院となるよう一層努力していく所存です。

西東京市(旧保谷市)出身です。2019年12月に出身地に戻ってきました。直後に新型コロナ禍となり、佐々総合病院では本来の糖尿病診療や内科診療に加えて新型コロナの対応もしております。地元の皆様に少しでも恩返しできればと、日々尽力中です。どうぞよろしくお祈りいたします。

2021.08.01 佐々総合病院 副院長 西尾真一